

かつしかほくさい

葛飾北斎

かながわおきなみうら

「神奈川冲浪裏」を

たの

楽しむワークシート

にあてはまる数字を
入れてみましょう。

世界中にある「神奈川冲浪裏」

北斎のこの絵は、世界中の多くの人々が知る名画です。なぜこんなに有名なのでしょうか？ 理由のひとつとして、木版画で何まいもつくられていることが挙げられます。江戸時代、多くの人々がこの絵を買いました。外国の人たちも、この絵を買って自分の国に持ち帰りました。木版画は、たくさんの方が楽しむことができます。こうして世界中にちらばった「神奈川冲浪裏」は、いま日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツなど世界の 国国のびじゅつ館・博物館におさめられていて、多くの人々を感動させています。

「モナ・リザ」はフランスのルーヴルびじゅつ館に1点だけ



実は36図じゃない 「富嶽三十六景」

この北斎の波の絵は「富嶽三十六景」というシリーズの中の一図です。「富嶽」は富士山のこと。「三十六景」は「36の景色」という意味です。けれど「富嶽三十六景」は全部で 図あります。江戸時代、浮世絵は絵草紙屋という店(今の書店のような店)で売られていました。北斎の「富嶽三十六景」は人気の商品だったので、36図で終わらせず、10図を追加したと考えられています。

▶ のこりの45図も見てください。



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」アダチ版復刻浮世絵

絵の中には何人いる？

この絵の中には、3艘の船がえがかれています。船には何人も人が乗っています。みんなしせいを低くして、ふり落とされないようにしています。何人の人が見えますか？ 数えてみましょう。

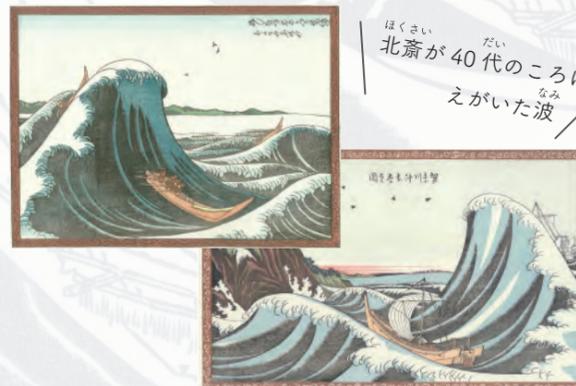
1 艘目 人
2 艘目 人
3 艘目 人
全部で 人

もしかしたら、まだ船の中に、かくれている人がいるかもしれませんね。

ずっと続ける、くりかえしえがく

北斎は小さいころから絵をえがくのが好きで、90才でなくなる直前まで、ずっと絵をえがき続けた人でした。北斎がこの絵をえがいたのは 才をすぎからです。北斎は何度も波の絵をえがいていますが、えがくたびに工夫をして、前の絵とはちがうものを描くようにちょうせんし続けました。

▶ あなたがちょうせんしていること、してみたいことはなんですか？



葛飾北斎「おしをくりはとうつうせんのず」「神奈川沖本全之図」アダチ版復刻浮世絵

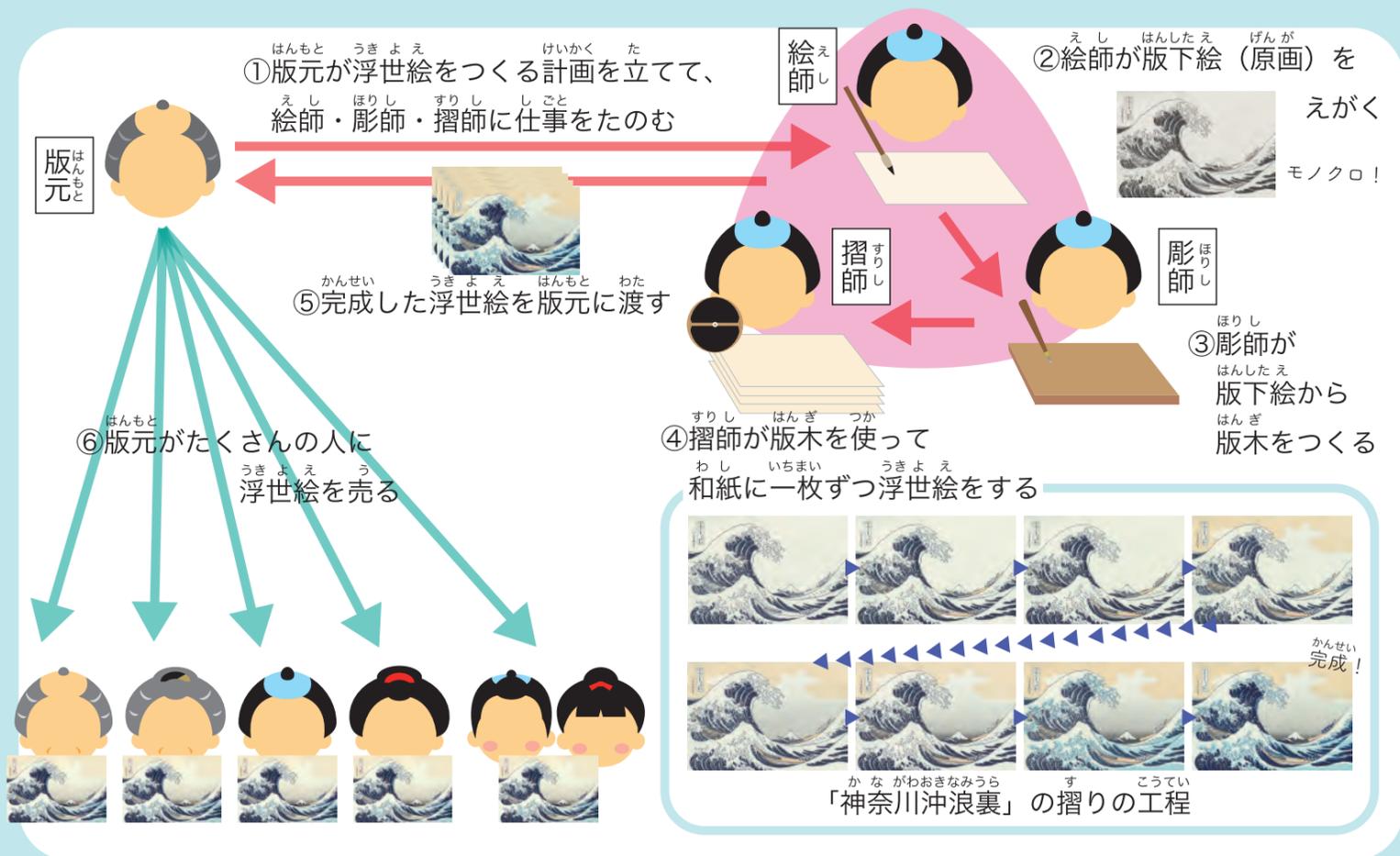
今もくらしの中にある北斎の波の絵

北斎のこの絵は、今でもとても人気です。ポスターや商品のパッケージにも使われています。2024年7月から発行される日本の新しい 円札の図がらにも選ばれています。

▶ 「神奈川冲浪裏」の絵が使われているものを、あなたの身の周りにさがしてみよう。

うきよえはんが 浮世絵版画はチームワーク！

葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」は木版画で、当時何千枚もつくられ、たくさんの人が楽しみました。ただし、北斎がひとりですべてつくったわけではありません。浮世絵版画は、**絵師**、**彫師**、**摺師**が協力してつくりま
す。そして、**版元**がみんなをまとめ、できあがった浮世絵を多くの人の手に届けるのです。

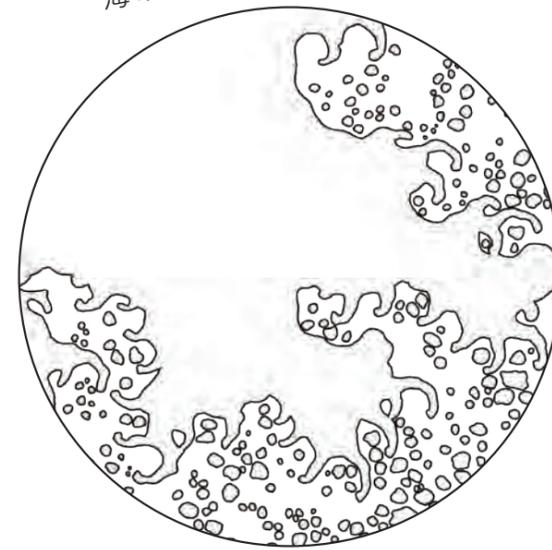


えし 絵師にチャレンジ！ ずこう ほくさい せん 北斎の線を なぞってみよう

絵師は墨と筆で、版下絵をえがきます。
北斎の線をなぞってみましょう。細か
くて、一本の線でも太さがちがったり
しますね。



すりし 摺師にチャレンジ！ ずこう てんき じかんでも お天気や時間でも うみ いろ 海の色はちがうよね うみ いろ あなたの「海の色」を つくってみよう



海の色は何色でしょうか？ 北斎の「神奈川沖浪裏」の海は、3色の異なる青色で表されています。それぞれの青色は、摺師が絵の具の粉を水にといて、まぜて作り出した色です。摺師はいろいろな色を自分でつくりま
す。絵の具をまぜて、あなたの「海の色」をつくって、左の円の中をぬって
みましょう。

ほりし 彫師にチャレンジ！ たいけん はん ぎ 版木をさわってみよう

「神奈川沖浪裏」をつくるには4枚の版木が必要
です。どの版木が、絵のどの部分に使
われているか、展示で見てください。

浮世絵の版木には、ヤマザクラの板を使いま
す。ヤマザクラの木はかたくて重
いです。

たくさんの浮世絵をつくるための版木に、
がんじょうなヤマザクラはぴったりです。

ただし、それを彫刻刀でほるのは技術が要
ります。版木のでこぼこをさわって
みましょう。

実は北斎は、彫師の修行をしていたこと
もありました。 **版木はやさしくさわってね。**

この部分の版木はどれかな？



はんもと 版元にチャレンジ！ アイディア かな がわおきなみうら 「神奈川沖浪裏」のキャッチコピーを考えよう

版元の西村屋は、北斎の「富嶽三十六景」を話題にするために、発売前から本の後ろのページに
広告を出しました。今では「神奈川沖浪裏」はとても有名ですが、まだまだこの浮世絵のことを
よく知らない人もきつといます。どんな風に、この作品のことを紹介すれば、みんなが興味を持
つでしょうか。「神奈川沖浪裏」のキャッチコピーを考えてみましょう。

みんなが
ワクワクする
ことば
言葉って
なんだろう